


## 数理基礎論講義・初刷の正誤表

p.vi (目次の最終ページ) このページ下方に以下を追加する：  
本書のサポートページは


`\verb|http://www.saiensu.co.jp/|`

から迎れるサポートページ一覧の本書の欄にリンク  
されています。

本文中のアイコン  はサポートページに置かれた  
記事への参照指示を表します。

p.75, 上から 7 行目  $\prod_{x \in X} \chi_A(x) \implies \sum_{x \in X} \chi_A(x)$

p.127, 上から 8 行目 “満員でも泊まれるホテル” に次の脚注を付ける：

このホテルは Hilbert が可算無限集合の説明のために考え出したもので、普通 “Hilbert のホテル” と呼ばれています。  
ただしスペースの関係で注の実体はサポートページに置くことにし、上から 9 行目の (\*^^\*)  
を  と取り替えて参照を示す。

p.180, 脚注 1) 終点に位置する  $\implies$   $\overset{\wedge}{\text{臍}}$  の位置にある

p.181, 例 12.2 の冒頭 より一般に、平面  $\implies$  より一般に、 $p \geq 1$  に対し平面

p.183, 上から 11 行目 (不等式の最後の行) 冒頭の  $\geq$  を  $=$  にする

p.183, 上から 12~13 行目

それは、ヘルダーの不等式の等号の条件から得られ、

$\implies$

それは、これをヘルダーの不等式 (12.4) の右辺とみなしたとき、等号成立時の左辺の値として  
得られ、

p.183, 下から 7~8 行目

これから  $p - 1 = p/q$  に注意して

$\implies$

これを用いて (12.3) を示します。  $p - 1 = p/q$  に注意して

p.188, 上から 4 行目      と言います  $\implies$  を使います

p.262 右, 人名索引中のコーエンの行      1934-  $\implies$  1934-2007